

豊岡水害を経験して

今年の十月二十日。台風23号のために私の住んでいる旧日高町や但馬は大きな水害に見舞われました。その日は学校から早めに帰りましたが、私は台風の本当の怖さを知らず、学校が休みになるかなくらいに思っていました。しかし、夜になると雨が強まり、近所の川から水があふれ出してきました。家の真横の田んぼが水びたしになり、すぐ近くまで水がきたころ、私はやつと事の大変さに気付きました。

しかし豊岡の堤防が決壊すると、水が氾濫していき、私の家は被害がありませんでした。翌朝、父と母は復旧の手伝いに行き、私と姉と妹は祖母の家にあずけられました。テレビでニュースを見てみると、ほとんどは旧豊岡市の浸水した映像がながれていました。私はそれを見て、台風が大きな被害をもたらした事におどろいたと同時に、自分にできる事をしたいとも思いました。母の車に乗り街に出てみると、畑がぐちゃぐちゃで、電信柱

はかたむき、道は泥だらけ、被害にあった家の方は泥との闘いの真っ最中でした。

次の日、母と姉がボランティアに行くと言ったので、私も困っている人の力になりたいと思い、ボランティアに参加しました。小さくなった服も、体育館に持っていき、被害にあった人達に着てもらいました。私が町役場に行くのとたくさんの方がボランティアに集まっていた、その人たちの気持ち思うと心があたたかくなりました。

この台風で私の友達で被害にあった人もたくさんいました。だからそんな時こそ、お互い助け合う事も大切で、そんな多勢の方の協力のおかげで豊岡市は今のすがたを取り戻したのだと思います。台風23号では多くの物を失いました。でも、その代わり私はみんなの優しさにふれる事もできました。これからは水害で経験した事を生かし、伝え、困っている人に優しく手をさしのべられる人になっていきたいです。